

大田区立調布大塚小学校児童のみなさんへ

学習用タブレットの使用について

現在、みなさんが授業や家庭学習で活用しているタブレットは、大田区が買って貸し出している「学習用タブレット」です。「大田区が買っている」ということは、多くの人々の大切な税金でまかなわれている、ということです。ノートや筆記用具のように使いこなして、さらに深く学べるように、これから先、社会に出てからも生かせるようにするための学習用タブレットです。学校で使うときも、家に帰ってから使うときも「学習用」ということには変わりありません。

さて、自分勝手な解釈で、「遊び用」にしてしまっている人はいませんか。

自分勝手をおつけて、学校や家庭で、周りの人を困らせてはいませんか。

使い方のルールをみんなで守っていかないと、学習用タブレットの機能も、大きな制限をかけるしかなくなり、結局は使いづらい道具となってしまいます。「遊び用」に大切な税金を使うことはできません。

学習用タブレットが使えるようになったみなさん一人一人が、責任ある行動を取る必要があります。使いづらい道具になってしまうかどうかは、一人一人の行動にかかっているとは思いませんか。

一人一人が正しい使い方を考えて、正しい行動ができる人になってください。

大田区立調布大塚小学校
校長 玉野 麻衣